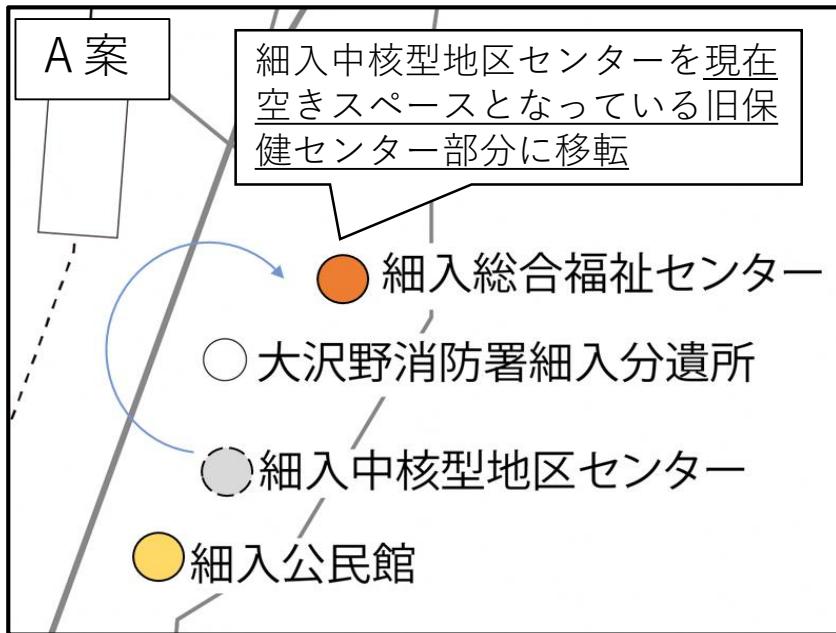


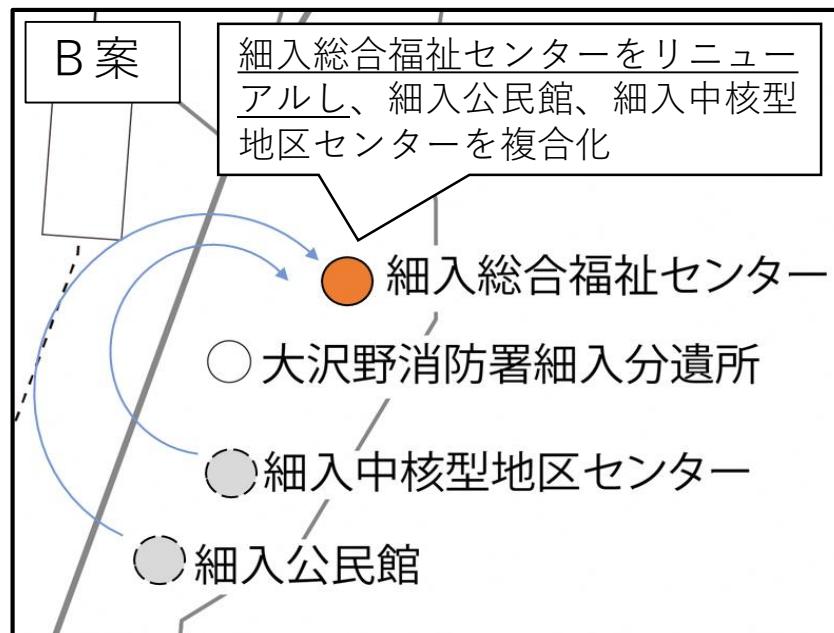
A案：中核型地区センターを総合福祉センターに複合化するプラン

- 行政サービスセンターの機能を総合福祉センターに複合化
- ホール機能は公民館を維持することで確保する



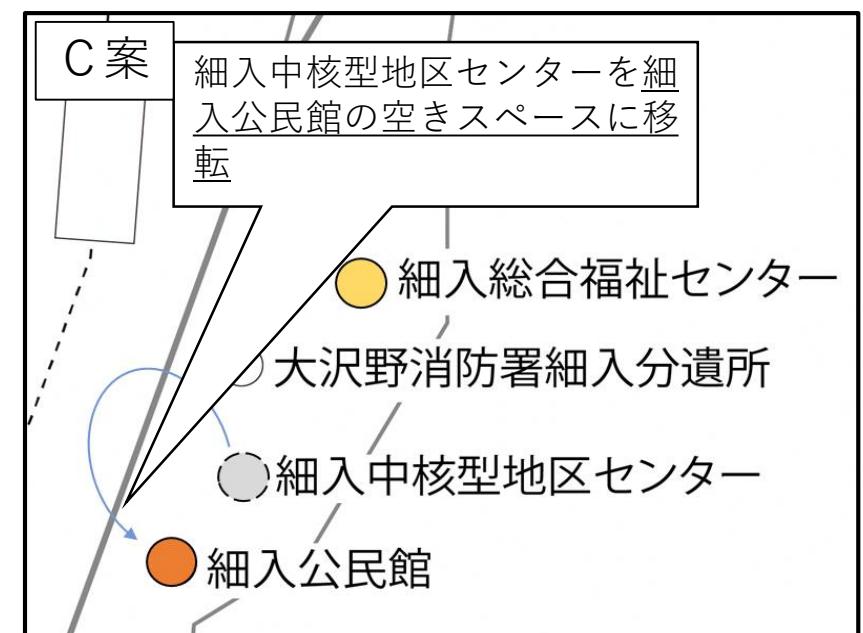
B案：総合福祉センターをリニューアルし、中核型地区センターと公民館を複合化するプラン

- 中核型地区センターと公民館の機能を総合福祉センターに複合化
- 合わせて必要な機能が確保できるよう総合福祉センターのリノベーションを行う



C案：中核型地区センターを公民館に複合化するプラン

- 中核型地区センターの機能を公民館に複合化
- 複合化に伴い事務室などの一部の改修を行う



● 複合化・多機能化 ● 維持 ○ 解体

長所

- 窓口のバリアフリー化によって利便性が高まる
- 当面は公民館が維持されるため、ホールを含め集会機能が多く維持される

課題

- 公民館はバリアフリー化されておらず、公民館利用者の利便性の向上は図られない
- 公民館も老朽化しており、近い将来その再編が課題となる

長所

- バリアフリー化された総合福祉センターへの複合化により、利用者の利便性が高まる
- 老朽化した旧庁舎・公民館の2施設の複合化が図られる

課題

- リノベーションは行うが、ホールや会議室などの集会機能は現在と比べるとどうしても小さくなる

長所

- 行政機能の複合化のため、現状の集会機能は概ね維持できる
- 改修等の施設整備費の負担が少ない

課題

- 公民館はバリアフリー化されておらず、窓口や公民館利用者の利便性の向上は図られない
- 公民館も老朽化しており、近い将来その再編が課題となる

A案、B案、C案
共通の内容

○：細入北部地区コミュニティセンターは地元や民間への譲渡、または廃止する

○各再編案の評価項目（案）

提示された案（必要に応じ、次回までに再編案を修正します）について、次回のワークショップで庁舎・課題について比較検証を行います。比較検証はこれまでに議論された6つの視点で行います。

	評価項目（案）	評価方法（案）
①地域の活性化	● 地域のシンボルとなる施設が整備され、地域外からも人が訪れる場を確保できるか。	天湖森、林林、楽今日館の機能で評価
	● コミュニティ活動に使われる場を確保できているか。	集会施設の配置で評価
②変化する社会ニーズへの対応	● 利用者が少なくても地域にとって大切な施設が残されるか。	猪谷関所館、プールの機能の有無で評価
	● 子どもや高齢者のための機能や庁舎機能が地域のために残されているか。	中核型地区センター、総合福祉センターの機能有無で評価
	● 現状不足している医療、買い物などの機能が付加される可能性のある施設はあるか。	天湖森、林林、楽今日館の機能で評価
③利便性の確保	● 機能の質を維持しつつ統廃合を進めることにより、施設の利用価値や利便性を向上できているか。	複合化した施設の機能で評価
④安全性の確保	● 避難所配置は適切か。（中山間地域であることの地域性、避難経路の安全性）	避難所の配置で評価
	● 廃止が予定される公共施設は適切に解体されるか。	廃止施設の将来の方針で評価
	● 老朽化が懸念される施設への対応が適切になされるか。	避難所の安全性で評価
⑤利用しやすさ・運営の工夫	● 利用ルールの改変、積極的なPR、施設を利用した新たな取組みの開始など、管理主体の工夫により施設の利便性向上や活性化が図られる可能性があるか。	北部地区コミュニティセンターの利用のしやすさで評価
	● （民間ノウハウを取り入れて運営面が強化される可能性があるか。）	—
⑥効率化・財政負担の軽減	● 将来コストが縮減されるか。	将来コストで評価
	● 公共施設が利便性の高い場所に効果的に配置されているか。	公共施設の配置で評価